

東海循環器画像研究会・サマーセミナーのお知らせ

(共催：日本放射線技術学会 中部部会 アンギオ研究会)

謹啓 時下ますますのご清祥のことと、お慶び申し上げます。

最近設置される血管撮影装置には、患者被ばく線量把握のための線量表示装置が装着されているものが増えてきています。そこで、東海循環器画像研究会では、「患者さんの被ばく線量を把握しよう」というテーマでサマーセミナーを開催いたします。ご多忙中とは存じますが、お誘い合わせの上ご出席くださいます様、ご案内申し上げます。

謹白
東海循環器画像研究会
会長 可児敏廣

記

日 時 平成 19 年 9 月 22 日 (土) 13 時より受付開始
場 所 名古屋市立大学医学部 研究棟 11 階 講義室 B
〒466-8550 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1 番地 TEL (052) 851-5511
参加費 500 円 (会員登録費 500 円)

プログラム

「患者さんの被ばく線量を把握しよう」

1. 講演 (13:30~14:00)

「人体ファントム線量計測に基づいた冠動脈造影と冠動脈インターベンション術における患者の被ばく線量評価」

名古屋第二赤十字病院 瀬口繁信 先生

2. メーカー講演 (14:15~15:30)

「血管撮影装置の線量表示システムの現状」

線量表示装置の表示値、AK (Air Kerma) と DAP (Dose-Area Product) 等について

フィリップスメディカルシステムズ (株), GE 横河メディカルシステムズ (株)

シーメンス旭メディック (株), 東芝メディカルシステムズ (株), (株) 島津製作所

3. パネルディスカッション (15:40~17:00)

「患者被ばく線量把握の現状」 ユーザーの立場から (現状報告)

名古屋第二赤十字病院：西條貴哉 先生, 藤田保健衛生大学病院：小林謙一 先生

三重大学医学部付属病院：山畑経博 先生, 岐阜大学医学部付属病院：渡邊恵介 先生

*会場からのご意見等も、歓迎いたします。

会場のご案内

地下鉄桜通線「桜山」駅下車 3, 4 出口

*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

